

平成29年度第1回役員会 会議報告

日 時：平成29年6月16日（金） 13：30～17：00

場 所：岡山県立記録資料館

出席者：20名

○役員（11名）

定兼会長、角張副会長、佐藤副会長、辻川理事、人見理事（忍田代理）、島田理事、栗原理事、江端理事、青木理事、田中監事、小川参与

○随行（5名）

原田真由美（富山県）、吉田千絵（北海道）、柳沢芙美子（福井県）、石井裕（茨城県）、伊藤康（鳥取県）

○事務局（4名）

堀義和、上田直道、前田能成、近藤萌美

欠席者：早川理事、小松参与

1 第22期（平成29・30年度）役員・委員の選任について

配付資料のとおり、会長から報告され、承認された。

2 報告

（1）平成28年度第2回役員会会議報告

- ・会長事務局から補足説明。「国立水俣病総合研究センターについては、4月7日付けで第42回全国（三重）大会関係資料一式が返送された。」
- ・今回欠席の早川理事より、前回役員会報告文言の訂正をいただいた。

（2）会員の現況及び平成28年度会費納入状況報告

- ・会長事務局から資料により報告。

（質疑・意見）

- ・個人会員の未納が20人もいるのが問題である。

→前会長事務局の埼玉県が、独自に督促を1回増やして実施した結果、未納件数が50人から20人になったところである。

（3）委員会報告

- ・会長から、5月3日に「大仙市アーカイブズ開館セレモニー」出席の報告。
- ・会長から佐藤副会長と同行し、千葉県文書館を訪問、実際の状況を聴取した。
- ・資料の順に各委員会事務局より報告。

- ・第43回全国大会の名称・テーマ等概要が了承を得られた。

(質疑・意見)

- ・会長事務局の引継ぎ事項を詳しく記述してほしい。

→毎日学術フォーラム、高崎倉庫との契約を更新した。

- ・他のアーカイブズ学会等へもPRして入会してもらったらどうか。

- ・調査・研究委員会の2年間のテーマは決まっているのか。

→平成29年度事業計画で説明する。

(4) 地域担当理事報告

- ・各部会から資料により報告。

(5) その他

特になし

3 協議

(1) 平成28年度事業報告及び決算報告について

- ・各事務局から順次事業報告があった。

- ・会長事務局から決算報告があった。

(質疑・意見)

- ・後援(名義使用)については、事後報告を明記すべきではないか。

→後援許可書で報告書の提出を求めている。

(2) 平成28年度の監査について

- ・田中監事より適正に執行されていることが報告された。

- ・平成28年度事業報告及び決算報告は了承された。

(質疑・意見)

- ・後援(名義使用)については、ルール化すべきではないか。

→終了した時点で記録にとどめ置くこととする。

- ・会には会計規定がないが、契約金額によっては相見積もりをとるなどはしないのか？

→事務局を担当している各団体の規定に基づいて適正に執行していただければよい。

(3) 平成29年度事業計画及び予算案について

- ・各事務局、各委員会から事業計画案の説明があった。

- ・会長事務局から予算案の説明があった。

(質疑・意見)

- ・青木理事から兵庫県教育長報告「近畿圏危機発生時の相互応援に関する基本協定に基づく文化財建造物の被災調査に関する要領の改正と文化財被災対応ガイドライン(案)の策定について(報告)」が提示され、災害アーカイブスについて今後他県においてもどれだけのものができるか、参考となる情報提供があった。

- ・これについては、調査・研究委員会が取り組むのか。

→まずは、アンケート調査から始める。

- ・国際交流に関して、例えばICAから国際資料研究所に日本語訳の依頼があった「人権保護のためのアーキビスト及び文書担当者の役割に関する基本原則」(ICAのサイトおよび国際資料研究所のHPに掲載、2016年のソウル大会で採択されたもの)などを全史料協HPで紹介すること検討してはどうか。

(4) 平成30年度の総会と大会について

定兼会長から以下の説明があった。

- ・総会を6月に、大会を11月に実施する。
- ・総会では、会議だけでなく講演会も行う。講師としてロバート・キャンベル氏に依頼し、内諾を得ている。
- ・大会は、11月8～9日、沖縄大会の予定である。

(5) 第23期役員選出について

定兼会長から以下の説明があった。

- ・会長をまず選出していただきたい。できたら当期の役員の中から会長をぜひ引き受けていただきたい。
- ・平成31年度大会をどこで引き受けていただけるかも検討いただきたい。
- ・次期会長はぜひ東日本でお願いしたい。大会開催も東日本でお願いしたい。

(6) 全史料協50周年記念事業について

定兼会長から以下の説明があった。

- ・各委員会の協議の中に入れていただきたい。
- ・例えば若手の意欲を喚起するため「会長賞」などを設けてはどうか。

(7) 新規会員勧誘について

(現在の全史料協のパンフレット(第18期事務局時作成)を配布)

- ・新たなパンフレット作成について、いろいろと意見があり、議論した結果、作成

する方向で了解を得た。

(8) その他

- ・メールアドレスの提供を積極的に呼びかけてはどうか。
→会費請求の際にお願いしたい。

4 その他

(1) 平成 29 年度第 2 回役員会について

平成 30 年 2 月 1 6 日 (金) とする。

会長事務局からの追加

2 報告

(2) 会員の現況及び平成 28 年度会費納入状況報告

- ・平成 29 年 6 月 1 日現在の会員数は、機関会員 1 3 8 機関、個人会員 2 9 4 名となっている。平成 28 年度会費納入状況は、機関会員 1 機関、個人会員 2 0 名が未納である。

(3) 委員会報告

- ・第 43 回全国大会の名称・テーマ等概要は次のとおり
大会名称：第 43 回全史料協全国（神奈川相模原）大会
大会日程：平成 29 年 11 月 9 日（木）～10 日（金）
大会テーマ：「公文書館法 30 年ー今、問われる公文書管理ー」

以上